

鹿児島県GX推進再エネ導入支援事業  
(再生可能エネルギー発電設備導入可能性調査事業) 実施報告書

1 事業の概要

① 事業の趣旨・目的

曾於市大隅町内で農業用水路の落水、もしくは新規発電水利権を利用した小水力発電導入可能性調査を実施し、環境に優しく、地産地消で安定電源である小水力発電所の事業化を目指す。また、小水力発電所の事業化により、地域の活性化及び土地改良区の維持管理費軽減に寄与する。

② 事業内容

現地測量、流量観測、河川協議を行い、事業化可能性の検討、並びに土地改良区や水利権者等への地域理解促進を図る。

2 事業の実施方法

① 打合わせ

委託業者等関係者との打合せ

② 委託事業

流量観測、水利権者等との協議

③ 報告書の作成

実測・調査内容の整理、報告書の作成

3 事業の成果

非かんがい期の笠木土地改良区の水利用の過去の実績を調査するとともに、既存用水路の非かんがい期の流量観測を行った。その結果、非かんがい期であってもイチゴや大根栽培の営農に利用されている他、防火用水に利用されている実績を把握することができた。

また、笠木土地改良区の余水を利用しての水力発電の為には、今後、鹿児島県河川課との協議を行い、非かんがい期の水利権明記をして頂く必要がある事を確認した。

4 事業経費の配分及び積算内訳

① 委託費（流量観測、河川協議他） 86.5万円（税別）

※ その他参考となる資料等があれば添付してください。